

防爆型電気式反応釜の開発概要

1 開発体制

中部電力株式会社

所在地：愛知県名古屋市東区東新町 1

代表取締役社長：三田 敏雄

伊藤工機株式会社

所在地：三重県四日市市三ツ谷町 14-20

代表取締役社長：伊藤 台藏

日本電熱株式会社

所在地：長野県安曇野市豊科 500 番地

代表取締役社長：山本 茂明

2 本開発品の仕様

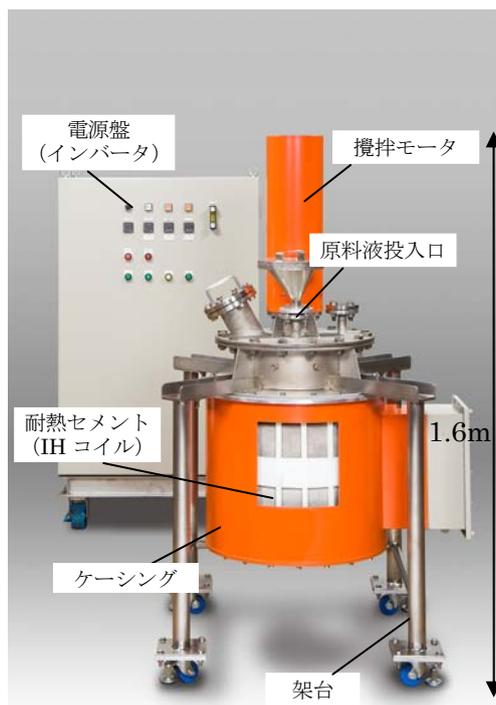


図 1 開発品の外観

表 1 開発品の仕様

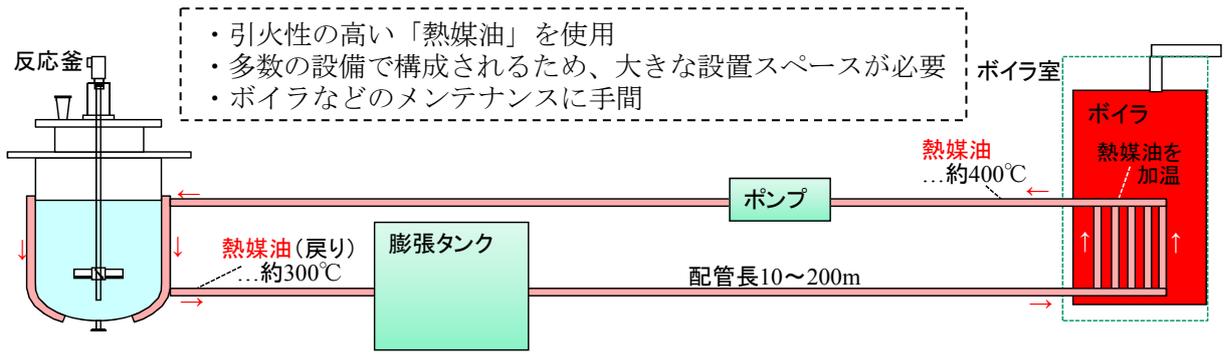
項目	単位	開発品	受注可能品
内容量	L	100	100～3,000
電源容量	kW	25	25～750
加熱能力	kW	20	20～600
外形寸法	反応釜	外径×高さ mm	740×1,600 ～1,900×4,000
	制御盤	幅×奥行×高さ mm	800×200×1,500 ～1,200×300×1,800
価格 (税込・工事費別)	万円	600	600～7,200
使用電源	—	AC200V 三相	
製品温度	℃	200～400	

注 1 仕様および価格は目安であり、内容物の種類や加熱能力により異なります。

注 2 本開発品は、(社)産業安全技術協会の防爆機器認可を受けています。「電気機械器具防爆構造規格」における「第 2 種場所」(可燃性ガスが発生する可能性があり、一時的に火花等の発生により爆発事故が起こる危険性のある場所)で使用できます。ただし、大容量の反応釜については、防爆認可を別途受検する必要があります。

3 開発のポイント

①従来方式（熱媒油式）…油・ガス焚きのボイラから高温の油を供給し、反応釜を加熱



省スペース・省メンテナンスを実現！

②開発品…電気により、反応釜自体が発熱

